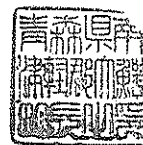


鱒 建 第 21 号  
平成19年4月18日

国土交通省道路局長 殿

大鱒町長 二川原 和 男



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のあった標記について、別紙  
のとおり回答します。

## 今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見

### 1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

- ①地域の活性化を重視した都市や交通拠点を結ぶ幹線道路網の整備
- ②交通事故の多発地帯の解消のための整備
- ③通勤、通院、通学等の日常の暮らしを支える生活幹線道路の整備
- ④大雨、大雪、地震等の災害に強い道路整備(待避所、ロードヒーティングの整備等)

### 2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- ①工期短縮による整備費の縮減
- ②在来工法の見直しによる経費節減(新型工法の開発)
- ③事業の費用対効果の強化を図り、効果の少ない計画路線の廃止

### 3. その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

- ①道路整備後の維持管理費が相当な経費となることから、将来の維持管理費の節減を考慮した工法開発(従来より耐久性に優れたアスファルト類の開発等)を望む。
- ②当町は温泉街及び集落内の町道の幅員が極めて狭小なことから、冬期間における車両通行に支障を来している。このため、地域住民から電線類の地中化並びにロードヒーティング・消融雪溝の整備の要望が強く出されている。
- ③近年、地方における財政事情は悪化しており、このため生活道路である市町村道の改良及び維持管理は年々手薄になっており車両の通行に支障を来している。したがって、国庫補助金のかさ上げ等により市町村の負担軽減を望むものである。